

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：“トレコン” 1164G-30

1164G-05, 1164G-15, 1164G-15 BFE, 1164G-30 BFE, 1164G-15 NFE, 1164G-30 NFE,
1164G-30 FE, 1164G-30 NT1, 1164G-30 NT2, 1164G-30 BT1, 1164G-30 BT2, 1264G-E30,
1264G-S30, 1164G-15 NT1, 1164G-15 NT2, 1164G-15 BT1, 1164G-15 BT2

会社名：Toray Plastics (ShenZhen) Ltd.

住所：Shatou Jiaotang Ind' 1 District Shajing, Baoan, Shenzhen, P. R. CHINA.

電話番号：+86-755-27235000

FAX 番号：+86-755-27235016

担当者：製造部長

2. 組成、成分情報

化学名（一般名）：ポリテトラメチレンテレフタレート樹脂

別名（通称、略称）：ポリブチレンテレフタレート樹脂 P B T樹脂

単一製品・混合物の区別：混合物質

成分の化学名

ポリテトラメチレンテレフタレート

化学特性（化学式又は構造式）： $-[OC_4H_8OC_0(C_6H_4)C_0]_n-$

CAS No.：26062-94-2

化審法番号：7-1039

TSCA：登録済

成分の化学名

ガラス繊維

化学特性（化学式又は構造式）： $SiO_2 \cdot Al_2O_3 \cdot (Ca, Mg)_O \cdot B_2O_3 \cdot (Na, K)_2O$

CAS No.：65997-17-3

化審法番号：1-548

TSCA：登録済

成分の化学名

有機臭素系難燃剤

CAS No.：非公開

化審法番号：登録済み

TSCA：登録済

成分の化学名

三酸化アンチモン

化学特性（化学式又は構造式）： Sb_2O_3

CAS No.：1309-64-4

化審法番号：1-543

TSCA：登録済

3. 危険有害性の要約

有害性：

本物質を体内埋め込み用途に使用しないこと。

環境影響：

記述すべき環境影響はない。

物理的及び化学的危険性：

可燃性。

分類の名称（分類基準は日本方式）：

危険有害性の分類に属するものではない。分類基準に該当しない

4. 応急措置

吸入した場合：

事故の場合または気分が悪いときは直ちに医師の診断を受けること（可能であればラベルを示すこと）。

被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。

溶融物から発生するガスを吸って気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気の場合に移動し、回復を待つ。回復しない時は、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

溶融物に触れた場合は直ちに清浄な水で冷やす。皮膚の上の固まった樹脂を無理に剥がさない。火傷があれば医師の診断を受ける。

目に入った場合：

最低 15 分間、清浄な水でゆるやかに限の洗浄を行う。できるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける手配をする。

コンタクトレンズを使用している場合は、取除いて洗浄を続ける。

眼をこすらせてはならない。

飲み込んだ場合：

事故時又は不快感を覚えたときは、直ちに医師の診断を受ける。可能であればラベルを見せる。

水でよく口の中を洗わせる。意識がある場合、水をコップ 1-2 杯飲ませた上で、指をのどに差し込んで吐き出させる。

5. 火災時の措置

消火剤：

火災の際に使用すべき消火剤：露状水 噴流水 泡 粉末 炭酸ガス

火災時の特定危険有害性：

火災および／または燃発の場合に、フェームを吸入しないこと。

燃焼の際に生成する有毒なフェームまたはガス：一酸化炭素

火災のとき大量の黒煙が発生する。

火災の際、熱分解または燃焼により刺激性で有害性の強いガスが発生するおそれがある。

火災時に熱、黒煙および燃焼ガス（一酸化炭素、二酸化炭素）が発生する。

特定の消火方法：

安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護する。

消火作業は、離れた風上から行う。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護：

消火作業従事者は適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：

道路や床にこぼした場合は、転倒のおそれがあるので集めて処分する。

環境に対する注意事項：

下水、排水中に流してはならない。

海洋生物や鳥類が摂取して死亡するのを防止するため、「樹脂ペレット漏出防止マニュアル」を参照されたい。

除去方法：

掃き集めて、容器に回収したのち、廃棄まで保管する

二次災害の防止策：

付近の着火源となるものを取除く。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い：

技術的対策：

取扱者の暴露防止：

使用時には喫煙しないこと。

粉じんを吸入しないこと。

吸入してはならないもの：ガス、フェーム

換気のよい区域でのみ使用すること。

近くで火気をみだりに使用しない。

加工時に発生するガスおよびフェームを吸入しないようにする。また高温の樹脂には直接手を触れないようにする。

長時間高温の状態では放置しない。

ペレットは静電気を帯びやすいので、必要に応じて静電気除去の対策をとる。

火災・爆発の防止：

2次加工により粉じんが発生した場合には、粉じん爆発に対する予防措置を講ずること。

注意事項：

通常の場合、全体の換気が良好であれば充分である。

安全取扱い注意事項：

容器を破損させない。

容器は鋭角のものに落下させたり、当てる等してはならない。

乱暴な取扱いや落下をさせてはならない。

保管：

適切な保管条件：

消防法、指定可燃物、合成樹脂であり、市町村条例に従って取り扱うこと。

避けるべき保管条件：

熱から離して保管すること。

着火源から離して保管すること—禁煙。

熱源、スチーム管、直射日光から離し、冷所で保管する。

消防法、指定可燃物、合成樹脂であり、市町村条例に従って取り扱うこと。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：

加工作時に発生するガスや粉塵を除去するため局所排気設備の設置が望ましい。

保護具：

呼吸器用の保護具：

換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用すること。

粉体の場合：防塵マスク、溶融物の場合：有機ガス用マスク

手の保護具：

適当な保護手袋を着用すること。

目の保護具：

保護眼鏡または安全ゴーグルを使用すること。

皮膚及び身体の保護具：

適当な保護衣を着用すること。

適切な衛生対策：

休憩、終業時は手を洗うこと。

作業中の飲食、喫煙禁止。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态：

形状：固体ペレット状

色：白色或いは黒色

臭い：無臭

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲：

沸点：なし

融点：225℃

引火点：文献に知見なし

発火点：>400℃

爆発特性：文献に知見なし

蒸気圧：なし

蒸気密度：なし

密度：1480～1690kg/m³

10. 安定性及び反応性

安定性：

予期される通常の保管および取扱いの条件において安定と考えられる。

11. 有害性情報

急性毒性：

記述すべきデータはない。

局所効果：

乾燥、溶融時に発生するガスおよびフェームは眼を刺激する

感作性：

記述すべきデータはない。

慢性毒性・長期毒性：

記述すべきデータはない。

発がん性：

記述すべきデータはない。

変異原性：

記述すべきデータはない。

催奇形性：

記述すべきデータはない。

1 2. 環境影響情報

残留性/分解性：

記述すべきデータはない。

生態蓄積性：

記述すべきデータはない。

魚毒性：

記述すべきデータはない。

1 3. 廃棄上の注意

承認された廃棄物集積場で処理すること。

「廃棄物の処理および清掃に関する法律」および各自治体の諸条例に従い処理すること。

焼却する場合は、管理された焼却設備を用いて廃掃法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法に従って処理処分すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制：

該当なし

輸送の特定の安全対策及び条件：

直射日光や風雨にさらされないようにカバーする。梱包袋が破れないように、乱暴な扱いを避ける。もし破袋してペレットが飛散した場合は、滑って転倒しないように注意する。

1 5. 適用法令

■廃棄物処理法 廃プラスチック類

■労安法 通知対象物質

ガラス繊維 (No. 313),

三酸化アンチモン (No. 38)

■ PRTR 法 第一種指定化学物質 該当

三酸化アンチモン (No. 1-25)

第二種指定化学物質 非該当

適用法規情報：

この物質に関する貴国又は地方の規制について調査することは、当社としては行いかねますので、この問題は貴社責任で処理願います。

この物質に関する貴国又は地方の規制を遵守してください。

1 6. その他の情報

責任の限定について：

この情報はこの特定の材料に関するものであり、この材料が他の材料と組み合わせされたり、処理されたときは無効です。この情報を自分自身の独特な取扱いに適合させ、完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。

ここに示す情報は誠意をもって作成していますが、明記があるにしても保証はありません。

これ以上の情報については当社にご相談ください。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上で、ご利用ください。

参照文献：

- 「製品安全データシートの作成指針（改訂版）」、日本化学工業会（厚生労働省，経済産業省環境省監修）（2001）
- 「化審法化学物質改訂第4版」、化学工業日報社（通産省監修）（1999）
- 「13901の化学商品」、化学工業日報社（2001）
- 「労働安全衛生法MSDS対象全データ」化学工業日報社（2000）
- 「樹脂ペレット漏出防止マニュアル」、日本プラスチック工業連盟他（1993）